

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	放射線治療技術学特論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎801教室
担 当 教 員	中岡 大輔	実務経験とその関連資格	放射線診断および治療の両部門での実務経験があり、治療では照射や品質管理などの業務を担当した			
《授業科目における学習内容》						
国家試験対策として、放射線治療学に関するすべての分野について過去問を中心に解説する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:2022年版 診療放射線技師国家試験 合格!Myテキスト: 過去問データベース+模擬問題付 オーム社 :診療放射線技師学生のための なんで なんで? どうして? 放射線治療技術学(診療放射線技師国家試験出題基準に基づく国家試験 対策シリーズ) 医療科学社						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、過去に購入した教科書、参考書を利用して予習、復習をしておくこと。 過去に出題された、放射線治療関係の問題を解くこと。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義は、4年次の放射線治療関係における最後の講義となり、これまでに学習した内容の理解度を確認するうえで重要な講義となる。過去問題を解くうえで、国家試験合格ラインに達することができるように、予習、復習は積極的に行うこと。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の病理, 病期, および癌治療の指針の基本および癌の予後因子に関する問題を理解できる		専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので、予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	癌治療総論に関する国家試験対策			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部放射線治療装置および密封小線源治療装置に関する問題を理解できる		専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので、予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	放射線治療機器に関する国家試験対策			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療計画装置および治療計画の実際に関する国家試験問題を理解できる		専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので、予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画装置および治療計画の実際に関する国家試験対策			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	QA, QCおよび安全管理に関する国家試験問題を理解できる		専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので、予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	放射線治療に関するQA, QC, 安全管理に関する国家試験対策			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	吸収線量の評価および照射術式に関する国家試験問題を理解できる		専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので、予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	吸収線量の評価および照射術式に関する国家試験対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部, 体幹部, 四肢, 他に関する治療の国家試験問題を理解できる	専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので, 予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく, 関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	部位別放射線治療に関する国家試験対策		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹部, 四肢, 他に関する治療の国家試験問題を理解できる	専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので, 予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく, 関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	部位別放射線治療に関する国家試験対策		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線治療に関する付属機に関する国家試験問題および放射線治療に関する模擬試験を実施して, 理解度を確認する	専任教員の用意した教材を使用。	事前に講義資料を配布するので, 予習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく, 関連の教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	放射線治療に関する付属機に関する国家試験対策および総括		